

エスニック地理学 と フィールドワーク

山下 清海

昨年(2011年3月3日)の発表内容

- I. フィールドワークの重要性
- II. 海外のフィールドワークの事例
 - 1. 中国僑郷(華僑の故郷)のフィールドワーク
 - 2. イタリアのチャイナタウンのフィールドワーク

2

本日の発表の流れ

- I. フィールドワークの重要性
- II. 池袋チャイナタウンにおける
フィールドワークの実践と課題

3

I. フィールドワークの重要性



2011年10月 大学院「社会地理学特論」東京エスニックタウン1日巡検

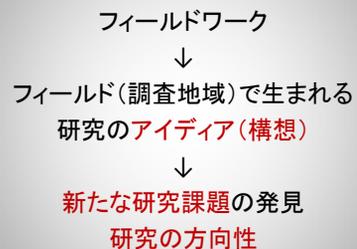
4

エスニック地理学研究の困難性

- 研究対象がエスニック集団(外国人, 異民族)
集団の社会, 文化の理解までに長期の時間を要する
相互理解の困難性
コミュニケーション(言語), 警戒心
- 統計データの不足
→フィールドワークの重要
聞き取り調査
景観・土地利用調査
→地図化(地理学の「武器」)

5

フィールドワークから生まれる発想



6



池袋チャイナタウンに関する報道 (2007年)

- ◆2007年3月 「池袋チャイナタウン・ガイド」発行
「日本最初のニューチャイナタウンとして」
(日本地理学会<東洋大>で発表)
- ◆2007年5月16日 東京新聞
「池袋チャイナタウン 熱烈歓迎」
- ◆2007年5月29日 TBSテレビ
「イブニング・5(ファイブ)」: 特集:池袋チャイナタウン
「池袋に激安チャイナタウン出現! ギョーザ1キロ480円」
- ◆2007年11月5日 読売新聞
「池袋に中華街 中国人の生活支援」

14

「中華街」構想

- ◆2008年1月25日 「東京中華街」準備委員会
中国メディアに対して中華街構想を発表

↓

池袋駅周辺(半径500m)の新華僑経営店舗のネットワーク

- ◆2008年2月6日 夕刊フジ
「池袋中華の乱 地元商店街 vs 中国系飲食店」

15



池袋チャイナタウン 都内最大の中華街の実態に迫る

<目次>

1. 池袋チャイナタウンとは?
2. 彼らはなぜ日本にやってきたか
3. 池袋・新華僑起業家列伝
4. 新華僑の経営スタイルと暮らし
5. 東京中華街構想の波紋
6. 池袋チャイナタウンのゆくえ

<巻末>池袋チャイナタウンマップ

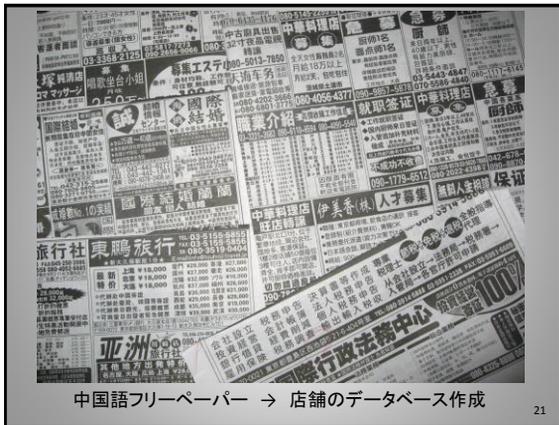
洋泉社 2010年11月刊
1400円+税

18



『池袋チャイナタウン』執筆のためのフィールドワーク

- 著書の企画
 - 編集者→企画書作成→出版社の選定
- 執筆内容の具体化
 - 企画会議(山下+編集者+出版社編集長)
 - 聞き取り相手の選定
 - 山下の人脈+紹介+アポ取り
 - 聞き取りの記録
 - ICレコーダー →臨場感に富む文章
- 研究協力者のプライバシーへの配慮
 - 本名or匿名?



中国語フリーペーパー → 店舗のデータベース作成

